

令和8年度 横堤中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

Ⅰ「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

Ⅰ 全国学力・学習状況調査

※英語はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（CBT=Computer Based Testing）で実施。

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率 (%)		平均無解答率 (%)		平均IRTスコア (参考)英語3技能
			国語	数学	国語	数学	
3 年	学校	94	62	57	4.9	10.9	513
	大阪市	-	60	55	5.4	11.4	499
4月23日	全国	-	63.9	57.0	4.9	10.4	499

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

調査結果とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について

成果と課題

1 国語の結果と分析

・大阪府平均（61.0%）を+1.0ポイント上回り、全国平均（63.9%）にはやや届かないものの、ほぼ同等の水準に位置している。

【成果と課題】

○記述式問題・表現力（書くこと）において、自分の考えや文章の改善点等を記述させる問題で無解答率も低く、全国平均を上回る表現力を示している。

●辞書の意味と文脈上の意味の把握において、辞書の記述を参考にしつつ本文から該当する表現を探し出す問題で、諦めて空欄にする生徒が約2割見られた。

2 数学の結果と分析

・全国平均（57.0%）と同等であり、大阪府平均（55.0%）を+2.0ポイント上回る結果となっている。

【成果と課題】

○数学的な説明・論理的記述力（思考・判断・表現 / 記述式）において、記述式問題全体の正答率が42.5%と全国（39.1%）や大阪府（36.6%）を大きく上回っており、筋道を立てて説明する思考力・記述力が高いレベルで定着している。

●基礎的な計算・関数の表の読み取りでは、計算手続きや表からの値の読み取りといった基本知識・技能でのケアレスミスや定着不足が課題である。

3 英語の結果と分析

・平均IRTスコア：本校513点であり、全国（499点）および大阪府（498点）より約14～15点高い水準にある。

○「聞くこと（リスニング）」において、技能別平均正答数で本校1.3問（満点2.0問）と、全国（1.2問）・大阪府（1.1問）を上回っている。特に職場体験の発表から絵の順番を選ぶ問題（質問4）の正答率は63.3%に達し、全国（43.8%）を+19.5%大きく上回った。また、館内アナウンスを聞き、階を選択する問題（質問2）も90.0%（全国78.5%）と非常に高い理解度を示している。

●学校生活の説明を書く問題（質問14）の正答率は26.7%（全国27.8%）、長文理解に基づく意見記述（質問10(2)）の正答率は33.3%となっている。また、質問14の無解答率が16.7%、質問10(2)の無解答率が14.0%に達しており、自分の考えをまとめた長めの英文作成に対する抵抗感や白紙提出が課題である。

4 生徒質問紙より

○自己肯定感・承認感の高さ

・「自分にはよいところがあると思う」に対して、肯定的な回答（「当てはまる」「どちらかといえば～」）の合計が90.2%（全国84.0%、大阪府82.2%）と非常に高い値を示している。

・「先生は自分のよいところを認めてくれている」についても、96.8%（全国90.9%）が肯定的であり、生徒が教員から大切にされていると実感できている良好な人間関係が構築されている。

今後に向けて

◇ICT機器の日常的な授業活用（個別最適な学び・協働的な学びの推進）

・各教科の毎時間の授業において、短時間でもタブレット端末を活用する場面（意見の共有、資料検索、スライド作成、振り返り入力など）を意図的に設定し、日常的な活用度を向上させる必要がある。

◇知識・技能を「使う」学習場面（言語活動・探究活動）の充実

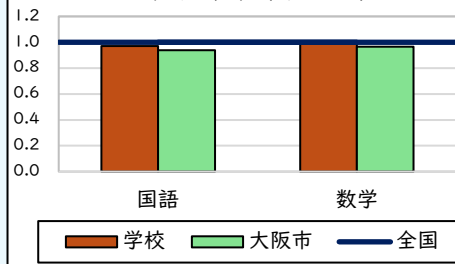
・単なる暗記や演習にとどまらず、学んだ概念や解法を「現実の場面や他教科の課題解決にどう応用できるか」を提示する授業構成（探究型の課題設定、発表活動の拡充など）を推進していく。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要（国語・数学）

平均正答率（％）

	国語	数学
学校	62	57
大阪市	60	55
全国	63.9	57.0

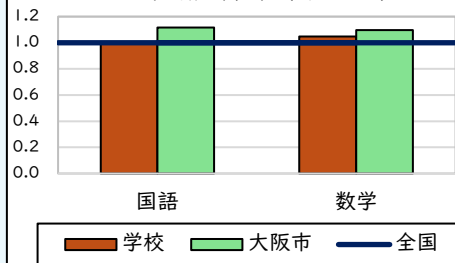
平均正答率（対全国比）



平均無解答率（％）

	国語	数学
学校	4.9	10.9
大阪市	5.4	11.4
全国	4.9	10.4

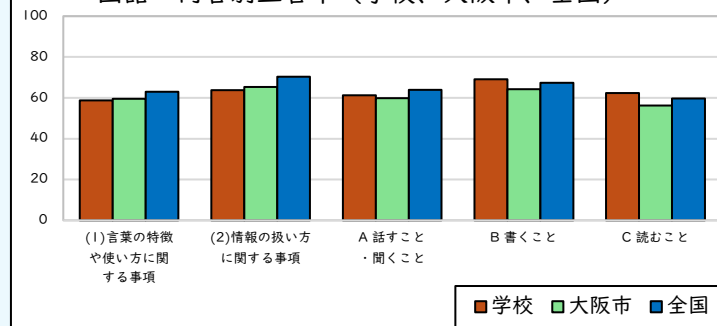
平均無解答率（対全国比）



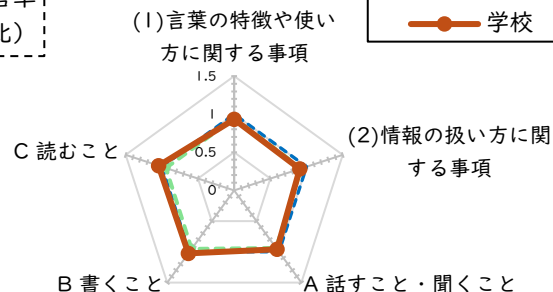
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	5	58.7	59.5	63.0
(2)情報の扱い方にに関する事項	1	63.8	65.3	70.4
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	61.3	59.9	63.9
B 書くこと	3	69.1	64.2	67.4
C 読むこと	3	62.4	56.3	59.7

国語 内容別正答率（学校、大阪市、全国）



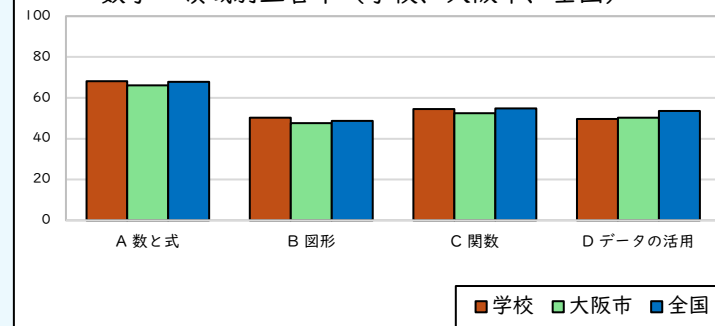
国語
内容別正答率
（対全国比）



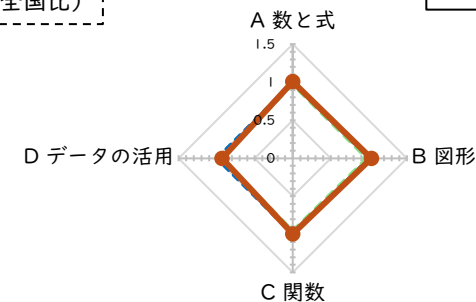
【数学】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	68.2	66.1	67.8
B 図形	4	50.3	47.6	48.7
C 関数	3	54.5	52.5	54.8
D データの活用	4	49.7	50.2	53.5

数学 領域別正答率（学校、大阪市、全国）



数学
領域別正答率
（対全国比）



令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要（英語）

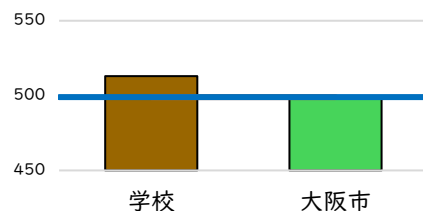
英語 平均IRTスコア

学校	513 (513)
大阪市	499 (499)
全国	499 (499)

※ 4技能の平均IRTスコアです

※ () 内は3技能の平均IRTスコアです

平均IRTスコア 英語 4技能



【IRT(Item Response Theory：項目反応理論）とは】

児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

【IRTスコアとは】

IRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

導入する年（中学校英語は令和8年度）の全国平均を基準値とし、経年比較が可能な形で算出します。

【IRTバンドとは】

IRTスコアを1～5の5段階に区切ったものです。3を基準のバンドとし、5が最も高いバンドとなります。

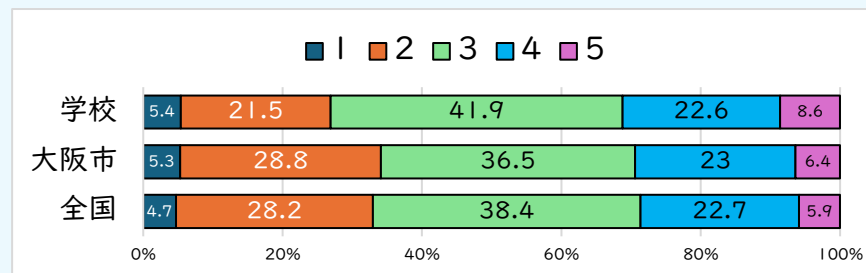
※IRTスコア・IRTバンドは、難易度の高い問題にしていると高めに、難易度の低い問題に誤答していると低めに算出されます。

IRTバンド分布比較（4技能）

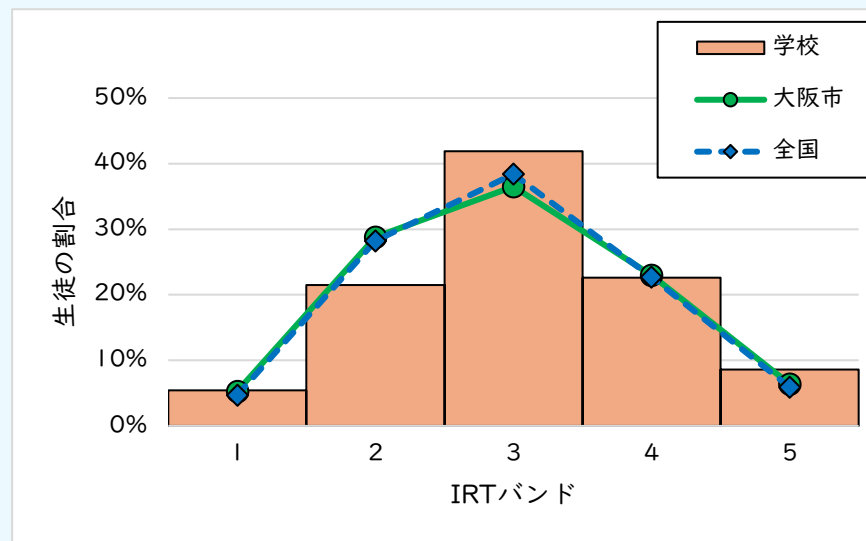
	1	2	3	4	5
学校	5.4	21.5	41.9	22.6	8.6
大阪市	5.3	28.8	36.5	23	6.4
全国	4.7	28.2	38.4	22.7	5.9

※ 4技能のIRTバンド分布です

IRTバンド分布比較（4技能）



IRTバンド分布グラフ（4技能）



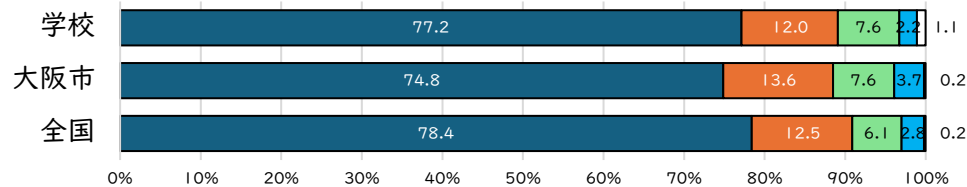
生徒質問調査より（１）

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

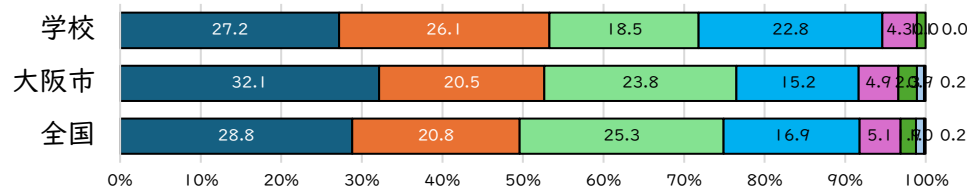
質問番号 質問事項

(1) 朝食を毎日食べていますか



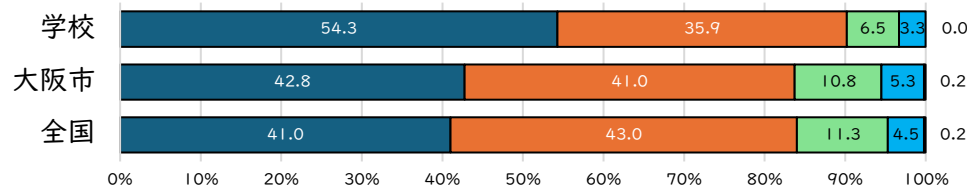
1 している
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

(4) 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）



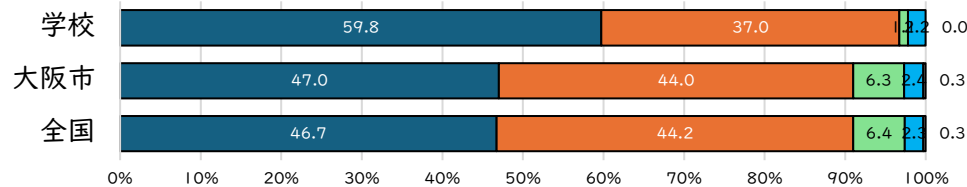
1 4時間以上
2 3時間以上、4時間より少ない
3 2時間以上、3時間より少ない
4 1時間以上、2時間より少ない
5 30分以上、1時間より少ない
6 30分より少ない
7 スマートフォン等を持っていない

(8) 自分には、よいところがあると思いますか



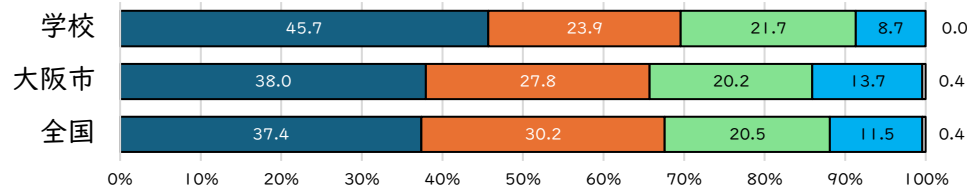
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(9) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(10) 将来の夢や目標を持っていますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

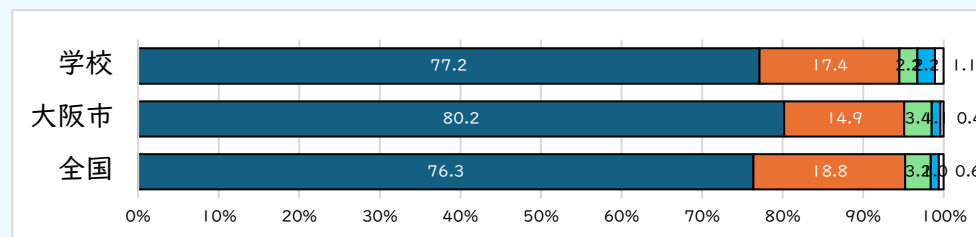
生徒質問調査より（２）

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

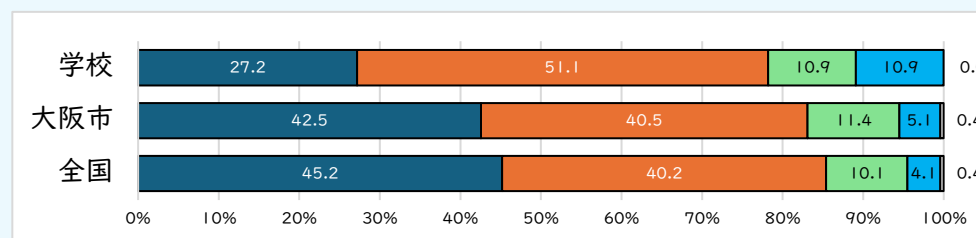
質問番号 質問事項

(12)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
------	------------------------------



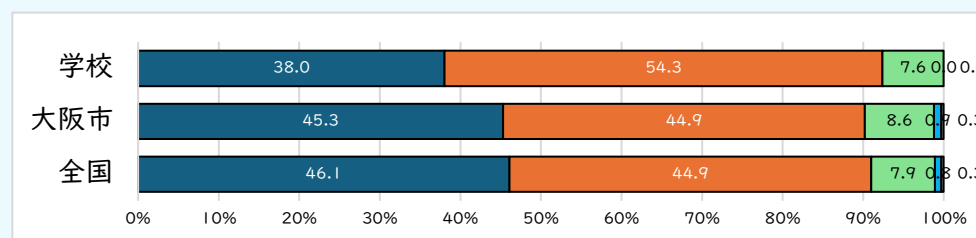
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(15)	学校に行くのは楽しいと思いますか
------	------------------



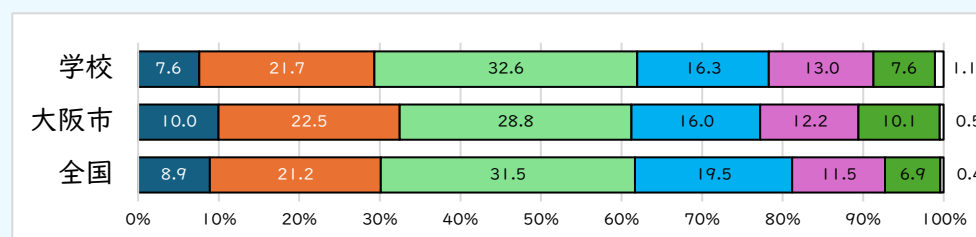
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(21)	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか
------	---------------------------------



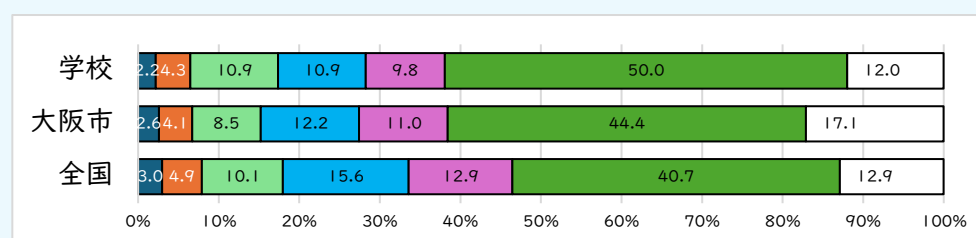
- 1 よくある
- 2 ときどきある
- 3 あまりない
- 4 全くない

(23)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
------	--



- 1 3時間以上
- 2 2時間以上、3時間より少ない
- 3 1時間以上、2時間より少ない
- 4 30分以上、1時間より少ない
- 5 30分より少ない
- 6 全くしない

(26)	学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）
------	--



- 1 2時間以上
- 2 1時間以上、2時間より少ない
- 3 30分以上、1時間より少ない
- 4 10分以上、30分より少ない
- 5 10分より少ない
- 6 全くしない

学校質問調査より

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

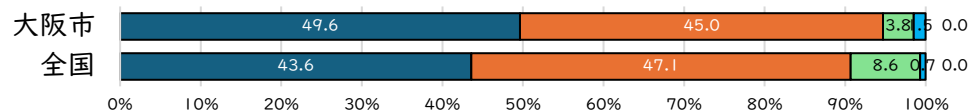
質問番号

質問事項

(8)

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

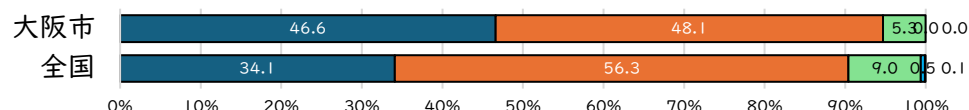


- 1. そう思う
- 2. どちらかといえば、そう思う
- 3. どちらかといえば、そう思わない
- 4. そう思わない

(9)

調査対象学年の生徒は、礼儀正しいと思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

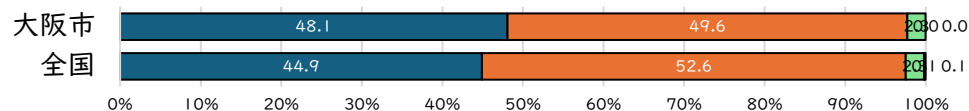


- 1. そう思う
- 2. どちらかといえば、そう思う
- 3. どちらかといえば、そう思わない
- 4. そう思わない

(10)

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行いましたか

【学校の回答】 1 よく行った

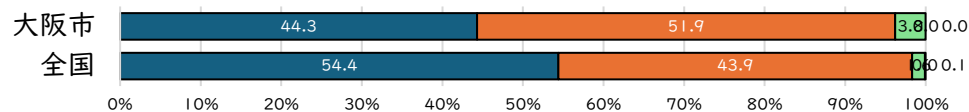


- 1. よく行った
- 2. どちらかといえば、行った
- 3. あまり行わなかった
- 4. 全く行わなかった

(11)

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行いましたか

【学校の回答】 1 よく行った

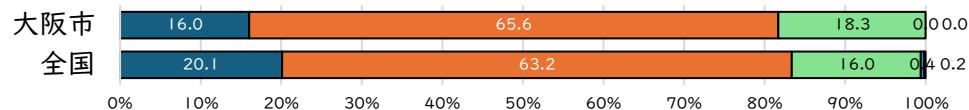


- 1. よく行った
- 2. どちらかといえば、行った
- 3. あまり行わなかった
- 4. 全く行わなかった

(76)

ICT機器を活用して各教科等における見方・考え方を働かせるような学習指導を行いましたか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、行った



- 1. よく行った
- 2. どちらかといえば、行った
- 3. あまり行わなかった
- 4. 全く行わなかった